



# 国際コミュニケーション学科

Department of Intercultural Communication

高いコミュニケーション能力と豊かなグローバル感覚を培います。



## 学科の特徴

### ▶ 地球という大きな視点から学ぶ

様々な異文化を知ることは、国際社会を理解する足掛かりになります。そのため、世界全体を見渡した文化理解、地域研究を時間軸という視点も交えて学習します。

### ▶ 国際関係について探究

国際関係の基礎として、言語やコミュニケーションから、政治、経済、経営、法律、環境科学、マスコミまで幅広く学習できます。そこからさらに深く国際関係論や国際政治などに進むことができます。

### ▶ 問題解決能力を培う実践的なゼミ

3年次に始まる少人数形式のゼミナールでは、各自が興味ある事柄の中からテーマを発見し、それについての問題点を調べ、考え、解決方法を見出します。各分野のスペシャリストの教員が研究をきめ細かくバックアップします。

### ▶ 他学科の科目も学べる自由度の高い履修システム

国際コミュニケーション学科の専門科目以外にも、一人ひとりの興味・関心に合わせて、共通科目や他学科、他大学の専門科目群からの履修も可能です。より幅広く学ぶことで可能性を広げます。



## 教育目標

グローバル感覚とコミュニケーション能力を身につけた人材を育てる。



## グローバル社会で“生き抜く力”を身につけて!

国際コミュニケーション学科 主任

### 古庄 信

世界はグローバル化が一層進み、大きな変化の中で、様々な問題に直面しています。国際コミュニケーション学科では、これらを歴史、文化、政治、経済、環境、芸術、宗教など、あらゆる角度から考え、幅広いコミュニケーションを取り、より良い世界をつくることに参画できる人材を育成することを目標としています。そのため、「国際関係」、「比

較文化・地域研究」、「コミュニケーション」の3つを学科の学びのコアとし、また3・4年次には、各ゼミ毎のテーマに従って、学生自身が問題を発見し、考え、解決する方法を指導します。本学科で学ぶ皆さんが、厳しい国際社会の中で生き抜く力を身につけ、世界に貢献できる人間として成長することを願ってやみません。

## 基礎演習科目群

1・2年次

専門分野の枠を越えて学問の基礎にふれる。

基礎演習では、大学4年間の学習の基礎となる問題発見能力を培い、自分の考えを伝える表現力を養うことを目指します。この科目は、1・2年次に、春学期と秋学期の半期ごとに開講されます。異なる教員による合計4科目の授業を通じて様々な学問分野を知り、自らの学びのテーマを見つけることが目的です。1年生と2年生が同じ教室で授業を受けながら、上級生が下級生をリードしてともに学ぶ場でもあります。

主な科目

- 国際コミュニケーション基礎演習

## 専門演習科目群

3・4年次

2年間をかけて自らの学びを探究。

3・4年次には、同一の教員による演習を履修し、卒業論文または卒業研究をまとめます。基礎演習とそのほかの科目での学習をふまえ、国際コミュニケーションにかかわる専門分野を継続的に学んでいきます。専門的な方法を深めつつ、現実に生起する様々な問題を発見し、知識を整理し、解決策を見出していく力を養うことを目指します。

主な科目

- 国際コミュニケーション演習
- 卒業論文
- 卒業研究

## 国際関係基礎科目群

1～4年次

政治、経済から環境問題、マスコミュニケーションまで。

国際関係の基礎にある様々な事象を学ぶための科目群です。言語、政治、経済、経営、法律、環境科学、マスコミュニケーション論、ボランティア論など、幅広い授業を通じて多角的な視点を身につけます。

主な科目

- 国際関係基礎論
- マーケティングI
- 経営学I
- 地域研究基礎論(第三世界)
- 環境科学
- マスコミュニケーション論I(概論)

## 取得できる資格・免許(P45参照)

- 司書
- 学芸員
- 中学・高校教諭一種免許状(英語)

## 国際関係専門科目群

2～4年次

国際関係をより深く。

国際関係を専門的に学ぶための科目群です。欧米政治の歴史と現状、国際法、国際機構、日米関係と日欧関係、日本の国際戦略など、激動する国際社会を理解するための様々な科目が開講されます。

主な科目

- 国際コミュニケーション論
- 国際関係論(日欧関係/日米関係/将来展望/国際関係史)
- 国際政治[歴史と現状/日本の使命/構造変化/国際戦略]
- 国際経済
- 国際法
- 国際機構論
- 国際開発論
- ヨーロッパ政治史

- 経営学II
- マーケティングII
- マスコミュニケーション論II・III[理論/広告・PR]
- ボランティア論
- 比較政治学
- 比較教育学
- 金融論

## 地域文化系基礎科目群

1～4年次

欧米、アジア、イスラムの文化を学ぶ。

世界の様々な地域の文化にふれる基礎的な科目群です。ヨーロッパ、アジア太平洋、イスラムなどの特質ある文化と社会のあり方に着目し、文化人類学や言語学など、文化の基底を理解するための理論についても学んでいきます。

主な科目

- 北米文化論
- ヨーロッパ文化論
- アジア文化論
- イスラム文化論I
- 言語地理学
- 比較神話論
- 比較道具論
- 比較居住文化論
- 言語学
- 社会言語学
- 文化人類学

## 地域文化系専門科目群

2～4年次

地域文化について理解を深める。

世界の地域文化をさらに深く学ぶ科目群です。グローバル化する世界の中で、いわゆる先進国と開発途上国の双方において地域固有の文化がますます大きな意味をもちつつある中で、歴史と現在、異文化間の比較といった視点から考察を進めていきます。

主な科目

- アメリカ文化論
- イギリス文化論
- フランス文化論
- ドイツ文化論
- イタリア文化論
- ロシア文化論
- 東欧文化論
- イスラム文化論II
- 中国文化論
- 朝鮮文化論
- 東南アジア文化論[大陸部/島嶼部]
- 南アジア文化論
- オセアニア文化論
- アフリカ文化論
- 中南米文化論
- アメリカ文学
- イギリス文学
- 文化遺産学
- 比較音楽論[東洋/西洋]
- 比較宗教学

## 将来の活躍分野(P50参照)

### グローバルな視点から世界と日本をつなぐ

豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を活かして、日本の海外企業や外資系企業をはじめ、マスコミや航空関係、旅行関係などの人気業種、さらには様々な海外協力機関や国際機関、公務員やNPO、NGOなど多岐にわたった国際活動分野での活躍も可能です。

## 外国語科目1群・2群

### 情報技術科目群

1～4年次

### 日本語表現法科目群

## コミュニケーション能力を磨く。

国際交流に不可欠なコミュニケーション能力を高めるために、英語をはじめとする外国語(ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語)の運用力を身につけます。また、現代の生活に不可欠な情報処理技術についてもコミュニケーションの視点から学びます。さらに日本語の表現能力を高める訓練も行います。

## 英語演習基礎科目群

2年次

## 外国語演習専門科目群

3年次

## 高度な外国語の理解力を身につける。

国際社会の様々な現象を外国語で直接理解するために、より高度な読解力、表現力を身につけることを目指す必修科目です。

主な科目

- 英語演習
- 外国語演習

## 日本文学学科の専門科目群

1～4年次

## 関心にあわせて他学科の科目を履修。

国際コミュニケーション学科の科目だけでなく、日本文学学科の専門科目の中から関心のある科目を履修することができます。

## 英語コミュニケーション学科

3・4年次

### の専門科目群

## 実践的な英語力を高める。

英語コミュニケーション学科の専門科目群を履修し、実用的な語学力を高めることができます。

# 専任教員紹介

**国際開発論**

「困ったときはお互いさま」と言うとおり、助け合いは不可欠、当たり前ものです。開発途上国における開発援助について勉強しながら、一人ひとりが関わりあえる国際協力・交流のあり方を考えます。



伊藤 由紀子 教授

担当科目  
● ボランティア論II  
● 国際開発論I  
● 国際文化交流演習XIII、XIV(開発途上国研修)  
● 国際協力研修

**比較居住文化論、生活文化論、東アジア・東南アジア地域研究**

文化は世界を動かし、世界をつくる源泉です。その記録と保存、活用を考えることは、豊かな未来をつくることに通じます。洗練されたものから日常生活まで、こうした文化を客観的に見る眼を養ってください。



乾 尚彦 教授

担当科目  
● 比較居住文化論  
● 東南アジア文化論II(島嶼部)  
● 日本生活文化史V、VI(住文化)  
● 国際文化交流論VIII(環境教育)  
● 国際協力研修

**中国を中心とする東アジア地域研究**

いま世界のなかで存在感を増す中国を中心として、東アジアの政治、社会、歴史を研究しています。地域研究を通して、わたしたちが生きている世界への想像力を鍛えていきたいと考えています。



金野 純 准教授

担当科目  
● アジア文化論  
● 中国文化論  
● 外国語演習I、II

**国際経済、金融論、基礎経済学**

グローバル化とIT革命によって海図のない状態に入った経済をどう考えるか。自分で問題を発見し、それについて自分で調べ、かつ考え、解決策を見出せる人になってください。



佐久間 潮 教授

担当科目  
● 金融論  
● 国際経済I  
● 経済英語特殊演習I  
● 外国語演習I、II

**国際文化協力**

人類共通の文化遺産が世界中の人々の知識の拡大や技術の交流にどのように役立つのか、そうした遺産の保護と活用が国際協力においてどのように進められているのか、について考えていきます。



ウーゴ・ミズコ 准教授

担当科目  
● 外国語演習I、II  
● 国際文化協力演習I、II  
● 企画立案(文化協力)  
● 地域社会特殊研究  
● 文化遺産学  
● 国際文化交流演習XI(ワシントン・セミナー1)

**図書館情報学**

インターネット上の情報システムを利用することが日常的になってきました。では、どのような情報システムが国際文化交流に役立つのでしょうか? 実際につくりながら、考えていきます。



江藤 正己 専任講師

担当科目  
● 図書館情報技術論  
● 情報サービス論  
● 情報検索演習  
● 図書館基礎特論

**国際法**

国際法は国際社会に妥当する法規範だと観念されますが、その履行は究極のところ、各国の国内法に委ねられる部分が少なくありません。国内法との協働といった視点を踏まえつつ、国際法に対する理解を深めていきたいと思えます。



櫻井 大三 教授

担当科目  
● 法学I、II  
● 国際法I、II  
● 外国語演習I、II  
● 国際文化交流演習XI(ワシントン・セミナー1)

**地球環境論、貿易と環境、農業・水と環境、農業環境政策**

環境問題の解決策を探ることは、多くの異分野間(例えば自然科学と社会科学)、異文化間(例えば国と国)の「コミュニケーション」を図ることと同じなかもしれません。総合的、国際的な視点で環境問題を皆さんと考えていきたいと思えます。

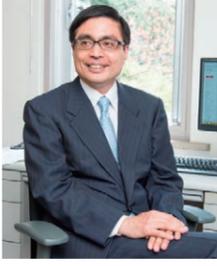


荘林 幹太郎 教授

担当科目  
● 環境科学  
● 地球環境論I、II  
● 国際関係基礎論II  
● 社会環境論II(環境経済学)  
● 外国語演習I、II

**経営学、国際経営**

21世紀は様々な前提や枠組みが大きく変わる、ボーダレスな時代になりそうです。私たちはどのようなキャリア・組織・社会を目指すべきでしょうか? 経営学の視座から皆さんと一緒に考えていきます。



金城 亜紀 教授

担当科目  
● 経営学I、II  
● 外国語演習I、II  
● 特別総合科目III(国際企業)  
● 国際文化交流論V(国際ビジネス)

**異文化交渉史、地中海研究**

現代世界を見通すためには、人類が積み重ねてきた交流と衝突の過去について学ぶことが必要です。ヨーロッパとアジア・アフリカの関係性を軸として、広い視野から歴史を考えます。



工藤 晶人 准教授

担当科目  
● 国際関係論I、II  
● フランス文化論I、II  
● 外国語演習I、II

**ヨーロッパ現代史、ユダヤ史、マイノリティ研究**

西洋の歴史をマジョリティ(男性、白人、キリスト教徒)の側からではなく、女性やユダヤ人など、マイノリティの側から見ると、かなり違って見えてきます。民族や人種といった側面からアイデンティティについて考えます。



武井 彩佳 准教授

担当科目  
● ヨーロッパ政治史I、II  
● ドイツ文化論I、II  
● 外国語演習I、II

**中・東欧を中心とするヨーロッパ研究**

EUに加盟しつつあり、急速な発展を遂げている中・東欧を地理、歴史、言語、民族、宗教、政治、経済、芸術など多様な側面から、国、都市、地方といったさまざまなレベルで見たいと思います。



中島 崇文 教授

担当科目  
● 地域研究基礎論I、II  
● 国際文化交流論III(日本文化交流史)  
● 外国語演習I  
● 中欧国際協力研修(第三世界)  
● 国際文化交流論III(日本文化交流史)

## 教員著書紹介

『ルネサンス精神への旅:ジョアッキーノ・ダ・フィオーレからカッシーラーまで』  
根占 献一 2009年 創文社

「ルネサンス精神への旅」は、ルネサンスとはどういうことであり、如何にあったかという根本的な問いから出発している。中世の神秘主義者ジョアッキーノ・ダ・フィオーレから始まり、近代の合理的思考を旨とする哲学者カッシーラーに至るまでの700〜800年間の諸問題を扱っている。

『ユダヤ人財産はだれのものか:ホロコーストからパレスチナ問題へ』  
武井彩佳 2008年 白水社

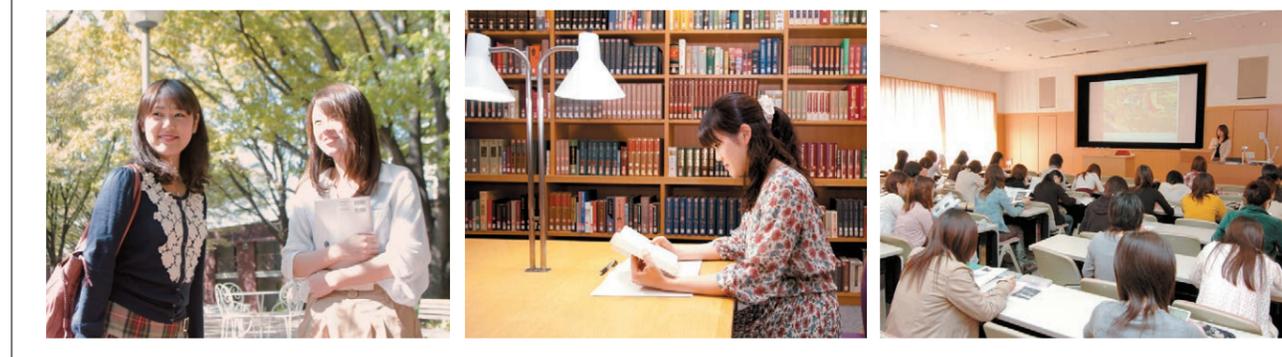
略奪されたユダヤ人の財産は戦後、どのように返還されたのか。また、その補償はどのようになされたのか。例外的に成功を収めていった財産返還問題について、パレスチナ問題までも視野に入れて論述していく。

『地中海帝国の片影:フランス領アルジェリアの19世紀』  
工藤晶人 2013年 東京大学出版会

19世紀地中海世界における「ヨーロッパ」と「非ヨーロッパ」の交流と軌跡を描き出し、フランスが北アフリカに及ぼした影響から浮かび上がる「帝国」に迫る。政治・経済史的な時代区分による歴史を越えて、思想・制度・地理における複数の時間軸から描き出す新たな近代史像。

『中国社会と大衆動員:毛沢東時代の政治権力と民衆』  
金野純 2008年 御茶の水書房

毛沢東時代の大衆動員過程を実証的に解明し、中国における社会変動のダイナミクスを浮かび上がらせる。



## 専任教員紹介

### 西洋史学、ルネサンス学

イタリア・ルネサンスの時代に、キリスト教思想・ヒューマンイズム・プラトン主義の諸問題が造形芸術や文学・哲学作品などにいかに影響を及ぼしてヨーロッパ文化が形成されたかを検討します。

- 担当科目  
 ●ヨーロッパ文化論  
 ●イタリア文化論II  
 ●外国語演習I、II



根占 献一 教授

### 国際政治学、国際関係論(日米関係)、アメリカ政治外交

戦争と平和、貧困や環境問題。国際政治学は各国の運命に深く関わる事柄を扱う学問です。各国の指導者の立場に立ち、その時代背景を深く考え、歴史を見つめ、国家の課題と向き合うための姿勢を確立します。

- 担当科目  
 ●国際関係論IV(将来展望)  
 ●国際政治I(歴史と現状)  
 ●国際関係基礎論I  
 ●北米文化論  
 ●国際文化交流実習XII(ワシントン・セミナー2)



畠山 圭一 教授

### 英語学(歴史統語論)、イギリス文化論

シェイクスピアの「言葉」という偉大な遺産を学ぶと同時に、イギリスと日本の様々な文化比較を通して英国人の生き方、考え方についての理解を深めます。

Ask, and it shall be given you!  
 Knock, and it shall be opened!

- 担当科目  
 ●英語学概論  
 ●外国語演習I、II  
 ●イギリス文化論I、II  
 ●BASIC LISTENING/NEWS LISTENING



古庄 信 教授

### 朝鮮半島を中心とする東アジア地域研究

朝鮮半島をとりまく様々な問題を検討の対象とし、東アジアの中の朝鮮半島を総合的に理解することを志します。また、東アジアの国・地域に内在する類似性と相違性を、比較の観点から複眼的に捉えることを目指します。

- 担当科目  
 ●朝鮮文化論  
 ●外国語演習I、II  
 ●韓国語基礎I、II  
 ●韓国語応用I、II



羅 京洙 准教授

## 卒業論文・卒業研究題目のテーマ例(2014年度)

- 弱者の居場所のある社会づくりを目指して～障害者・難民から考察する共生社会～
- 東京ディズニーランドの空間設計について～街をあげての演出～
- 急速な経済成長から北京故宮を守る 一環境問題から考える保護方法について～
- ユニクロ成長要因分析 一ZARA・H&Mとの比較一
- 旅館に対する外国人旅行者の視点 一宿泊予約サイトの口コミ分析を通じて一
- 婚姻とパートナーシップの日仏比較
- 現代中国に潜むジェンダー問題 一民国時期より現代まで一
- 人口減少社会と移民政策 一久保地域における多文化共生一
- 国際司法裁判所と安全保障理事会の権限関係 一機能パラレル論の批判的考察一
- 環境負荷と地域活性化の観点から見た地方空港の必要性
- 北欧と中・東欧の拡大EU諸国における外国語教育の比較研究 一フィンランド、スロヴァキア、オーストリアを事例として一
- イタリア・ルネサンスの理想の女性像にみる女性観の変化
- ASEANの域外戦略 一アジア太平洋地域の安全保障面での中心性一
- アメリカ南部白人の思考傾向についての考察 一根深く残る人種差別感情一
- A Study of Food Culture in the Elizabethan Period: with Special Reference to Shakespeare's Works
- 韓国の「若者」をとりまく社会的構造の研究一教育・雇用の観点から一

## 私の学び

### 1年次 国際感覚をしっかりと身につけ、夢が叶うよう成長したい。

客室乗務員や通訳になりたいという目標を持っています。そのためには、語学だけでなく幅広く世界を知る必要があると思い、国際コミュニケーション学科を選びました。

語学教育に力を入れているため英語の授業が充実していますが、最初は「BASIC READING」「BASIC LISTENING」など、基礎から学びます。高校までの英語をベースに、次第にステップアップしていくので、スムーズに学習に取り組むことができました。

また、「国際コミュニケーション基礎演習II」では、少人数のクラスでレポート作成の方法やプレゼンテーションの基本を身につけます。授業では、与えられた資料を簡潔で分かりやすい文章にまとめる訓練を行い、文章力の向上を目指しています。作成した文章は、先生に添削・指導していただけるので、着実に力が付いていることを実感できます。今後も世界の文化や言語を学び、夢を叶えたいと思います。

国際コミュニケーション学科 1年

### 知念 奈緒

福岡県・私立筑紫女学園高等学校出身

アットホームな環境なので、入学後すぐにたくさんの友人ができました。この学科では各国の文化を多様な視点から解説していくことができます。「国際文化交流演習IV」(映画)では、映画を通して西欧文化に触れました。



### カリキュラム

	月	火	水	木	金	土
1	春学期			BASIC READING	BASIC LISTENING	
	秋学期			READING & WRITING	NEWS LISTENING	
2	春学期	BASIC LISTENING	社会言語学I	特別総合科目V(環境問題)	国際コミュニケーション基礎演習I	言語学I
	秋学期	NEWS LISTENING	社会言語学II			BASIC READING
3	春学期	法学I	伝統文化演習V(茶道)			READING & WRITING
	秋学期	言語地理学	経営学I		情報処理II(コンピュータ基礎)	
4	春学期				情報処理I(コンピュータ入門)	
	秋学期	生活環境論II(ウエルネス論)	西洋近代史概論		国際コミュニケーション基礎演習II	
5	春学期	人間関係論II(母体の健康と育児)				
	秋学期	国際文化交流演習IV(映画)				

### 4年次 早くから目的意識を持つことで、充実した4年間を過ごせました。

中学時代の海外経験から「海外で活躍している日本人が少ない」と感じていました。このことから将来は海外で活躍できる人材になるという目標を持ち、大学生活を送ろうと決意しました。それを実現するには広い視野と発信力を身につけることが必要だと思い、2年次の8月から約一年間、協定校であるミズウリ南部州立大学へ留学しました。ミズウリ州は日本人が少なく、ルームメイトの3人もアメリカ人。語学力を鍛えるには絶好の環境ですが、最初は彼女たちの会話についていくことすら難しく、私の発音も通じずに苦労しました。これでは何の成果も得ないまま留学を終えることになる、と、とにかく積極的に話しかけるように心掛けました。そのおかげで、帰国前にはお互いの悩みを相談し合える仲間になることができました。

卒業後は、武田薬品工業で医薬情報担当者(MR)として働きます。当初は他業種を考えていた私がMRを選んだきっかけは、自分自身の経験にあります。病気に倒れた父が、投薬のおかげで回復するのを見て、社会における医薬品の重要性を実感したのです。私自身が治療することはできませんが、医薬品を扱う仕事に就くことで、多くの患者さんに薬を届けることはできます。これからの私の夢は、世界を飛び回って活躍するMRになること。大学時代の経験を活かして、グローバルな人材として飛躍できるよう努めていきます。

武田薬品工業株式会社 内定

国際コミュニケーション学科 4年

### 秋元 美希

千葉県・私立専修大学松戸高等学校出身

中学時代にアメリカでホームステイをしました。帰国時、英語が上手く話せず、ホストファミリーに感謝の気持ちを伝えられなかったことを後悔しました。努力の甲斐あって、今では自分の意思を英語で表現できるようになりました。

